



1912(大正元)年12月1日に鹿児島市に初めて路面電車が登場し、今年の12月で100周年を迎えます。今回は、本市の電車の歴史や、100周年を記念したイベントなどを紹介します。
【交通局 257-2111】

観光レトロ電車の製作・運行

大正時代から昭和30年頃まで運行していた、当時の20形電車をモチーフに、既存の台車・主要部品を活用して観光レトロ電車を製作します。電車運行100周年を記念し製作するため、形式は100形とします。
車内では観光サポートガイド(ボランティア)が市電沿線を中心とした観光案内を行います。
なお、今年のおはら祭は「電車運行100周年記念」と冠して開催し、観光レトロ電車を花電車とともに踊りゾーンに留め置きし、祭りに華を添えます。
◇運行日 土・日曜日、祝日(年末年始を除く)
※運行開始は12月から



市電・市バスゆ〜ゆ〜フェスタ

電車運行100周年を迎える12月1日(土)に開催する2012市電・市バスゆ〜ゆ〜フェスタで、様々なイベントを行います。
◇予定イベント
・観光レトロ電車出発式
・観光レトロ電車愛称の表彰式
・クイズ電車の賞品当選者への贈呈式
・写真コンテストの表彰式
※この他にも多数のイベントの開催を予定しています。詳しくは市民のひろば11月号で紹介いたします。



写真コンテスト作品募集

本市の路面電車を題材とした写真を募集します。受賞作品と一次審査を通過した作品は、交通局が開催するパネル展で紹介いたします。
◇応募規定など
①平成23年1月以降に撮影した未発表の写真
②四つ切りかワイド四つ切りの単写真
③応募は1人2点まで
④画像を加工・合成した写真は不可
⑤応募作品の使用権は交通局に帰属
⑥応募作品は返却しません
⑦被写体の肖像権に関して、交通局は責任を負いません。撮影時に承諾を得てください
◇応募方法
直接か郵送で、交通局などにある応募用紙に写真を添えて、8月20日(消印有効)までに〒890-0051高麗町43-41 交通局「写真コンテスト係」257-2111へ ※応募用紙は、1作品につき1枚添付。交通局ホームページからダウンロードできます

「日本最南端の電停」標柱の設置

路面電車の電停として、日本最南端に位置する谷山電停に標柱を設置しました。谷山電停は、交通局の前身である鹿児島電気軌道(株)が大正元(1912)年に、武之橋〜谷山で電車運行を開始した当時からある電停です。



100人に当たるクイズ電車

市電の車内にクイズを掲示し、応募者の中から抽選で100人に賞品をプレゼントします。市電の歴史にちなんだ問題や、豆知識的な問題を出題しています。問題は全部で6問で、市電の車内に3問ずつ掲示しています。
◇掲示期間 9月13日(木)まで
◇応募方法 定期券発売所などにある応募用紙に必要事項を記入し、交通局か市役所前発売所に備え付けてある回収箱に直接か郵送、ファクス、Eメールで、9月14日(消印有効)までに〒890-0051高麗町43-41 交通局「100人に当たるクイズ電車係」257-2111(FAX257-2119、Eメール de nsyajigyo@city.kagoshima.lg.jp)へ



ここで1問クイズアップ
(問)電車運行開始時の運賃はいくらだったでしょう。
①1区5銭
②1区2銭と通税1銭
③1区3銭と通税2銭
(答) 区間を武之橋〜騎射場〜海浜院道〜二軒茶屋〜脇田〜上塩屋〜谷山の6つに分け、1区2銭と通税1銭の料金でした。(2)

路面電車運行100年のあゆみ

- 大正元(1912)年 鹿児島電気軌道(株)が武之橋〜谷山で電車運行開始
- 昭和3(1928)年 鹿児島市が鹿児島電気軌道(株)を買収し鹿児島市電気局設置。市電の始まり
- 昭和14(1939)年 九州初の女性車掌(23人)が登場
- 昭和19(1944)年 鹿児島市交通部と改称
- 昭和20(1945)年 女性運転手、学徒挺身運転手を採用
空襲により、電車59両を焼失・破損し、運行可能な電車は3両となり、営業中止。(昭和21(1946)年4月までに上町線を除き、順次復旧)
- 昭和23(1948)年 上町線営業再開
- 昭和27(1952)年 鹿児島市交通局と改称
- 昭和35(1960)年 電車車検工場、トラバサ(車両を線路間で平行移動させる装置)完成
電車のワンマン運行開始
- 昭和42(1967)年 伊敷線の軌道敷内への乗用車乗り入れ実施
- 昭和45(1970)年 「愛の優先席」設置
- 昭和48(1973)年 11系統から3系統へ改定
- 昭和50(1975)年 冷房電車運行開始(昭和61(1986)年までに全車冷房化)
- 昭和56(1981)年 上町線・伊敷線廃止(営業総延長現在の13.1kmに)...①
- 昭和60(1985)年 センターポール事業着手(平成4(1992)年3月完了)...②
- 平成5(1993)年 函館市路線縮小に伴い、公営路面電車営業km日本一に
- 平成7(1995)年 戦後初の女性運転手採用
- 平成14(2002)年 超低床電車「コートラム」運行開始
- 平成17(2005)年 ICカード乗車システム供用開始
- 平成19(2007)年 連結式超低床電車「コートラムII」運行開始
- 平成20(2008)年 軌道敷緑化整備事業、鹿児島中央駅前〜鹿児島駅前完成...③
- 平成23(2011)年 観光電車運行開始
- 平成24(2012)年 電車運行100周年

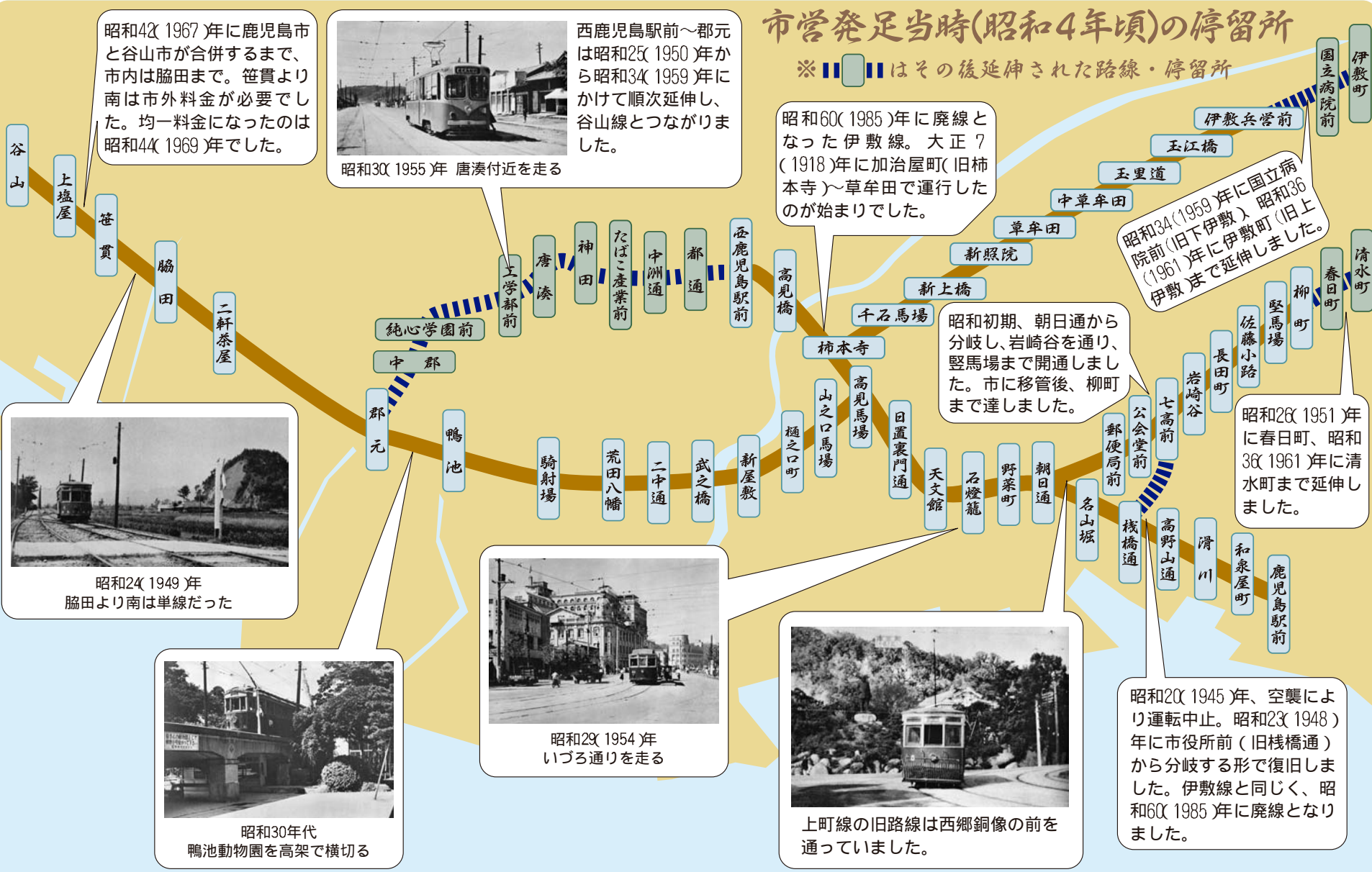


①上町線・伊敷線の廃止 昭和60(1985)年9月
現在の市電は、1系統(鹿児島駅前〜交通局前〜谷山)と2系統(鹿児島駅前〜鹿児島中央駅前〜郡元)で運行していますが、昭和60(1985)年9月までは、1系統(鹿児島駅前〜交通局前〜谷山)・2系統(清水町〜西鹿児島駅前〜郡元)・3系統(鹿児島駅前〜加治屋町〜伊敷町)の3つの路線が走っていました。

②センターポール事業 昭和63(1988)年〜平成4(1992)年
都市景観の向上・災害防止などを目的に、市電センターポール事業が行われました。道路と市電軌道敷の併用区間8.75kmで、電線の地中化・フラワーポットの設置などの整備を行い、観光鹿児島市のシンボルとしての新たな役割を果たしています。

③軌道敷の緑化整備 平成18(2006)年度〜平成24(2012)年度
「環境リーディングシティ鹿児島」の実現を目指し、緑豊かで快適な環境づくりを進めるため、市電軌道敷の緑化を行っています。平成18年度から整備を行っており、今年度、中洲通〜工学部前の区間で緑化を行い、道路との併用区間の全線緑化が完成します。
◇緑化による効果
・ヒートアイランド現象の緩和
・新たな都市景観を創出し、潤いと安らぎを提供
・電車の騒音が減少
・中心市街地の活性化

市営発足当時(昭和4年頃)の停留所



市電・市バスに乗るなら、ICカード乗車券「ラピカ」がお得です

市電・市バスのご利用には、ICカード乗車券「ラピカ」がおすすめです。市電・市バスの車内や乗車券発売所などで購入できます。発売額は3000円(回数券代2500円とデポジット代500円)です。
◇3つの特典
①積み増し額に1割のプレミアが付き
1000円積み増しで1000円のプレミア。
②乗り継ぎ割引があります
60分以内に交通局・南国交通・JR九州バスのそれぞれのバスを乗り継ぐと、1度目と2度目の運賃額の合計の5%を2度目の運賃から割引します。
60分以内に市電と市バスを乗り継ぐと、2度目の運賃額から40円を割引します。
③ポイントが付き
ご利用の運賃額に応じて1%のポイントが付き、積み増し時に10円単位で還元します。
【サンサンコールかごしま 099-808-3333】

タイムトラベル! 電車資料館

交通局の中に電車資料館があるのをご存知ですか。電車の運行が始まってからの資料を展示しています。懐かしい写真や、廃線になった系統の行先表示板など、貴重な資料が盛りだくさんです。見学したい人は、事前に連絡をお願いします。
【交通局電車事業課 257-2116】

ご活用ください! お得な「エコ定期」
エコ定期は、休日などに市電・市バスの通勤定期券を持つ人と、同伴する家族の運賃が安くなる制度です。
【サンサンコールかごしま 099-808-3333】